

Fundamental Environmental Study

2 units (compulsory)

Yasunori Kozuki · PROFESSOR / INSTITUTE OF TECHNOLOGY AND SCIENCE, Ryoichi Yamanaka · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF TECHNOLOGY AND SCIENCE, Sonoe Fujii · PART-TIME LECTURER / 特定非営利活動法人 ゼロ・ウェイストアカデミー

Takashi Nakanishi · PART-TIME LECTURER / 総合科学機

Target) 政策, 国土開発の変遷と関連を通じ, 公害から地球環境問題に至る経緯, 取り組みや環境倫理について理解させ, 環境破壊を起こさせない社会人, 技術者となる基礎的な知識, 考え方および取りまとめ方を習得させる

Outline) これまでの環境の政策, 国土開発の変遷と関連を整理し, 公害から地球環境問題に至る経緯, 取り組み, さらに今後の環境問題に対する姿勢の基礎となる環境倫理を解説する. また自身が行動し, 考えを文章に取りまとめる方法を指導する.

Keyword) 人と自然のかかわり, 環境史, *global warming*, *environmental ethics*, 地球サミット

Fundamental Lecture) “Regional Disaster Prevention Planning”(1.0)

Relational Lecture) “Resources Circulatory Engineering”(0.5), “Environmental Design”(0.5), “Ecosystem Conservation”(0.5), “Restoration Ecology”(0.5)

Requirement) なし

Notice) なし

Goal) 人と環境のかかわりの変遷や環境問題に関する基礎的な知識を習得している. (授業計画 1~ 15 および定期試験による)

Schedule)

1. ガイダンス (シラバス, 環境家計簿)
2. 人と自然について (環境家計簿をつける)
3. なぜ自然を守る必要があるのか 1? (環境家計簿をつける)
4. 環境史 (地球誕生 ~ 古代中世) (環境家計簿をつける)
5. 環境史 (近代, 国土開発) (環境家計簿をつける)
6. 公害 (環境家計簿をつける)
7. 中間テスト, 復習
8. 地球サミットの歴史 (環境家計簿をつける)
9. 地球温暖化 (メカニズム) (環境家計簿をつける)
10. 地球温暖化 (京都議定書) (環境家計簿をつける)
11. 生物多様性 (環境家計簿をつける)
12. 環境倫理 (環境家計簿をつける)
13. 環境家計簿発表
14. これからの環境問題
15. 期末テスト

16. 上勝町でのゼロウエストの先進的取り組み (藤井園苗), 質問, 総括

Evaluation Criteria) 到達目標 1: 中間試験と期末試験を 1:1 として評価. 評点 $\geq 60\%$ を当目標のクリア条件. 到達目標 2: 環境家計簿の取組を評価. 評点 $\geq 60\%$ を当目標のクリア条件. 成績: 1, 2 の評点の重みをそれぞれ 50%, 50% として算出

Jabee Criteria) 【成績評価】と同一である.

Relation to Goal) 本科目は本学科の教育目標の 1(1) に 30%, 1(2) に 50%, 3(2) に 20% 対応する.

Textbook) 住友恒, 村上仁土, 伊藤禎彦, 上月康則 「新版環境工学」理工図書

Reference) 環境白書

Webpage) <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/D0014>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215747>

Student) 他学科, 他学部学生も履修可能.

Contact)

⇒ Kozuki (Eco505, +81-88-656-7335, kozuki@eco.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜日, 14:35 から 16:05, 18:00 から 19:30)

Note) 授業を受ける際には, 2 時間の授業時間毎に 2 時間の予習と 2 時間の復習をしたうえで授業を受けることが, 授業の理解と単位取得のために必要である.